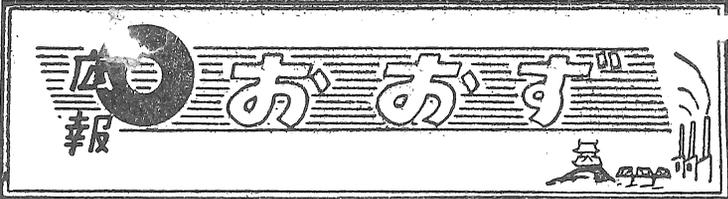


市の人口動態 9月末日調

総人口	46,270人	本籍人口	56,045人
内 {男	22,609人	内 {男	27,989人
女	23,761人	女	28,486人
世帯数	9,764世帯	本籍数	17,056戸籍
出生	59人	死亡	5人
		婚姻	2件
		離婚	1件
		卒産	0件



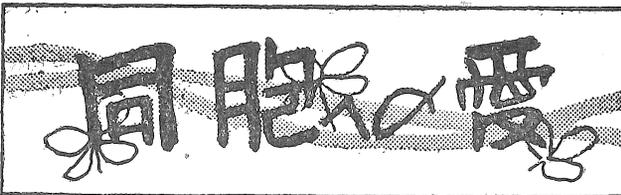
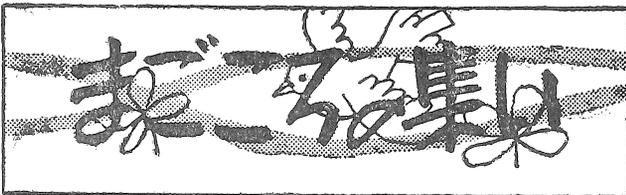
◆この廣報紙は市内各戸配付です◆

発行所 愛媛県大洲市役所
 代表者 沼田恒夫
 編集人 谷岡武
 総務課
 (月1回1日発行)

広報を
 みんなが読んで
 よい暮らし

伊勢湾台風被災者へ 援助物資をおくる

九月二十六、七日にわたつた伊勢湾台風の被災者を救おうとの声は市民の良心から発露し、十月二日、市議会本会議において伊勢湾台風被災者の援助決議となり、また十月四日、大洲市会堂に大洲市、市議会、日赤愛媛県支部大洲地区など十九団体の代表者による会議の決定となり、チラシの全世帯配布、地区打合せなどを経て、義捐物資の送附が市民に訴えられた。この援助運動は全市民の誠の運動となり、幼い児童や職場や、一般家庭からぞくぞくと物資は十月二十日受付所である大洲公会堂に集められた。集められたものは金額が約二十万円、衣類、食糧品など数万点である。そして、これらは、日赤奉仕団や市役所の職員により整理されこんぼうし、去る十月二十日、現地へ向け発送された。うるわしい同胞愛、けがれなき良心の集いに、誰もが感激を新たにしたのである。この真心のつどいは新しい市づくりの支柱となり、平和な世界建設の道へつづいていくことを固く信じた。



大洲小学校にて



日赤奉仕団による整理作業



九月 定例市議会終る

九月定例市議会は、去る九月二十五日に招集され、第三六号議案「教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて」ほか十三議案動議一件が可決され、十月六日に閉会された。以下可決された三議案を紹介しよう。



第三六号議案

「教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて」
 大洲市若宮七八八番地、宇都宮愛明氏が任命承認された。(写真)



第三七号議案

「ピアノの管理に関する条例」
 昭和三十三年十月四日、六十万円で購入され、大洲市公会堂に設置されたピアノの使用規定が定められた。

第三八号議案

「大洲市税条例の一部を改正する条例」
 固定資産税の免税点が引き上げられた。したがって少額所有者の(二万円、家屋三万円、償却資産十五万円まで)税金が減免されることになりました。

第三九号議案

「職員給与に関する条例の一部を改正する条例」
 一昨年の人事院勧告を実施、期末手当〇・一五ヶ月分の増額。

第四〇号議案

「大洲商工会議所改訂工事の請負契約の締結について」
 請負金額、九十四万五千円で大洲商工会議所会頭、梶原利太郎氏と請負契約がなされた。

第四一號議案

「財政再建計画の一部改正について」
 南久米地区七反六畝歩杉、松の処分

第四二号議案

「起債について」
 昭和三十四年度、市庁舎増築費用をまかなうため千五百万円以内の起債金額が可決された。

第四三号議案

「昭和三十四年度、農道、林道、土地改良等の事業計画の変更について」
 農道大宅線の距離が六〇〇米から四三〇米に短縮、農道西峰線四〇〇米が新規に加えられた。

第四四号議案

「市道の認定について」
 新、置小屋線(菅田)が市道として認定された。

第四五号議案

「市道廃止について」
 1. 大貨線(森山) 2. 父線(菅田) 3. 堤清線(大洲) 4. 只越慶雲寺線(慶雲寺経過)が市道を廃止された。

第四六号議案

「専決処分した事件の報告並びに承認を求めることについて」
 専決第六号 昭和三十四年度大洲市才入才出追加予算 ほか八件 (注) ことで行われた専決処分とは、地方自治法第七十八八条の第一項の規定の「普通公共団体議会の成立」なるとき、第百十三条但書の場合において、なお協議を開くことができないとき、普通公共団体の長において議事を招集するひまがないと認めるとき、又は議決において議決すべき事件を議決しないとき、当該普通公共団体の長の長はその議決すべき事件を処分すること(注)ができる)によるものである。

第四七号議案

「市有財産の処分について」
 南久米地区七反六畝歩杉、松の処分

第四八号議案

「昭和三十四年度大洲市才入才出追加予算(三回)追加により予算総額は二億九千七百八十二万九千二百円となる。内容は次号にわしく掲載します。」

第四九号議案

「昭和三十四年度大洲市上水道特別会計才入才出追加予算書(二回)」
 脇川橋工事ともない六万七千円が追加更正された。

市の福祉にも役立つ

目標二兆円 簡易新加入運動について

今回、簡易保険の増強運動が、全国的に展開されることになりました。当大洲郵便局といたしまして、大洲市運動に呼応して新加入運動を実施することとなり、また、平素皆様方から掛けていただいております。保険料は、保険金として利用者の皆様方に御支払いしている訳であります。これを集めますと、非常に大きな額となり、その積立金は郵政省から郵便局を通じて、県や、市町村へ財政上の一時融資(短期貸付)や、学校、病院、住宅、道路、水道等の建設資金(長期貸付)として、低利率で貸付られており、地方公共団体の福祉増進に、大きな貢献をしております。大洲市におきましても、学校、公営住宅、簡易水道、街路等建設資金として二七〇〇万円の融資を受けておられ、間接に皆様方のお役にたっております。かように簡易保険は御家庭のお役にたつばかりでなく、市、町、村発展のために、非常に大きな役割を果しているものであります。新規に加入して頂く方が多ければ多ければ、地方公共団体に貸付られる額も多くなりますので、大蔵省や愛媛県貯蓄推進委員会からも本運動に協賛して頂いております。この際、是非とも本運動に格別の御協力下さいませ。よう、お願いいたします。

大洲郵便局

計量単位はメートル法以外は使えません。

メートル法 未実施者一掃運動

十月十五日～十一月十四日

未実施の方は直ちにメートル法を実施して下さい

大洲小学校子ども銀行

大臣表彰さる

大洲小学校(校長兵頭義高氏)では昭和二十四年十月に貯蓄精神を身につけさせ、経済観念を涵養させるために子供銀行を創設、以来十年間、学習活動の一環として貯蓄運動をすすめていたが、去る十月十二日大蔵大臣、日銀総裁より表彰の通知に接した。これは全国代表校十七校の一つ(四国で一校)に選ばれたもので、十七日兵頭校長のつきそいによつて子供銀行支店長(香川章君)が上京し、表彰をうけた。そして二十二日帰校した兵頭校長、香川支店長より、全校生徒に表彰状の伝達式が行われた。これは子供銀行が十年間ひきつづいて貯蓄運動であること、貯蓄額が三五〇万円に達するなど非常により成績をあげているなどの理由によるものである。貯蓄推進運動期間における特記すべきニュースといえよう。

柳沢地区八反歩杉、松の処分

第四八号議案

「昭和三十四年度大洲市才入才出追加予算(三回)追加により予算総額は二億九千七百八十二万九千二百円となる。内容は次号にわしく掲載します。」

第四九号議案

「昭和三十四年度大洲市上水道特別会計才入才出追加予算書(二回)」
 脇川橋工事ともない六万七千円が追加更正された。

手づきをお早く

広報回覧板などでお知らせしましたが、国民年金法の施行にともない、福祉年金といつて七〇才以上の人が老令福祉年金(四千円)身体に大きな障害のある人に障害福祉年金(月五千五百円)母子世帯で義務教育を終っていない子を養っている人に母子福祉年金(月千円)が支給されることになり、九月一日より裁定請求書の受付が始めております。この福祉年金にはいろいろな条件や支給制限がありますので市役所社会課、または支所には御相談下さい。なお、この福祉年金は権利のある人の請求によつて支給されることになっておりますので、裁定請求書を出さないと支給されません。裁定請求書の書けない方は市役所社会課、または支所で記載することにしておりますからまだ手続のすんでない方は、早く手続をして下さい。

議長に芳我氏 副議長に松本氏



九月定例市議会最終日の十月六日、正副議長の改選各常任委員の改選が行われ議長に芳我忠正氏、副議長に松本道利氏が選ばれた。

常任委員の選出は、市長の推薦による。委員長の選出は、議員の推薦による。



◎新入議員 城戸多磨夫

◎改選議員 瀧尻寿三雄、山中重雄、丸井清治郎、武田秀雄、村上定重(七名)



◎長岡 綾夫

◎富永 安 半塚義和、上村政光、尾上利則、上川好邦、沖本恒利、西、太郎(八名)

就任御挨拶

今回の正副議長改選にあたり、玉井、小泉の正副議長の後任として、不肖私達二人が多数同志の御推せんを頂き、当選いたしました。このことは無上の光栄でございます。感謝感激にたえません。と同時に責任の重大なることを痛感し、決意を新たにした次第であります。

申しあげざるまでもなく、本市の当面する諸問題、すなわち、農業振興、中小企業等の発展、教育諸施設の完

大洲市議会 議長 芳我 忠正 副議長 松本 道利

備 市民医療体制の確立など、市民の諸施策は無限でございます。私達微力ではあります。全精魂を打込んで、これらの問題と取組み、努力と勉強を致す覚悟でございます。議会の皆様は勿論のこと、市長をはじめ理事者の方々の御指導に満ちた御指導と御協力をくれぐれもお願いたします。

◎平塚 義和 高岡 道春 小泉徳明、丸井清治郎、新山吉太郎



◎藤浦新次郎 高岡道春、玉井水澄、芳我忠正、直木義丸、谷本益衛

◎森元 重利 矢野ハツコ、小泉徳明、富永義忠、尾上猪男、松本道利、野本増蔵(八名)

二、住民負担状況

昭和34年9月30日現在

Table with columns: 税目, 税額, 納税者平均額, 総戸数平均額, 総人口平均額, 備考

三、財産公債及び一時借入金の現在高調

1 財産

昭和34年9月30日現在

Table with columns: 区分, 土地, 建物, 現行有価証券, 立木, 計

2 公債

Table with columns: 区分, 事業別, 借入先, 借入現在高

1 一般会計 収入状況調書

昭和34年9月30日現在

Table with columns: 科目, 当初予算額, 追加更正後予算額, 収入済額

支出状況調書

Table with columns: 科目, 当初予算額, 追加更正後予算額, 支出額

2 特別会計

収入支出状況調

昭和43年9月30日現在

Table with columns: 会計別, 予算額, 収入額, 支出額

財政事情の公表

昭和三十四年度

第六回大洲市財政事情を次のとおり公表いたします。今回は、昭和三十四年四月一日より昭和三十四年九月三十日までの六ヶ月間における本市の財政の概況であります。昭和三十四年十一月一日 大洲市長 沼田恒夫

大洲中学校

鉄筋三階建の偉容

大洲中学校の建築工事ははじまつた。これは市理事者を中心とした関係者の関係各省に対する猛運動の結果、昭和三十四年八月二十七日、大洲中学校建築事業の認定をうけ工事ははじまつたものである。

総建坪数、五四二、五坪(うち国庫補助対象四四〇坪)、鉄筋コンクリート三階建、一部二階建、教室数十八、放送室、職員室などが完備される。請負入札は九月二十五日に、村上建設(代表者村上清吉氏、南久米)が三、〇九〇万円で落札、九月三十日、起工式が行われ、現在着々と工事は進行しつつある。

竣工は来年三月三十一日の予定。一方若宮分校の増築工事は起工式は十月十五日全校裏側の現場で行われた。この工事は四〇九坪の校舎の建築で、市役所元岡技師の設計により仲岡建設代表者(仲岡武夫氏)新谷が五百五十万円を請負い、木造二階建、十六教室の外、家庭科室、家事室、理科室などが設備せられるものである。竣工は昭和三十五年三月十五日、特別教室もなく不自由を忍んでいた生徒たちにとって、歓迎の新学期を迎えることができる。

本校の竣工より一足先きの落成で、特別教室もなく不自由を忍んでいた生徒たちにとって、歓迎の新学期を迎えることができる。

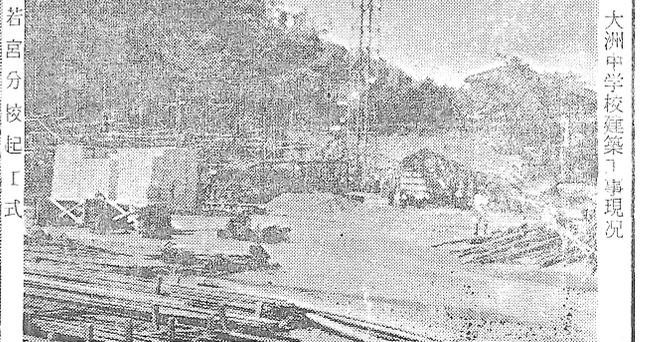
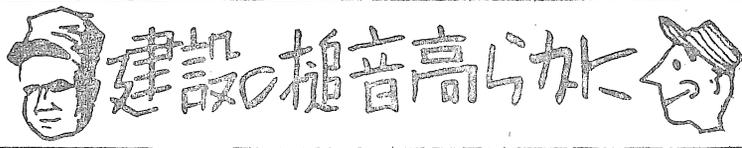
本校の竣工より一足先きの落成で、特別教室もなく不自由を忍んでいた生徒たちにとって、歓迎の新学期を迎えることができる。

本校の竣工より一足先きの落成で、特別教室もなく不自由を忍んでいた生徒たちにとって、歓迎の新学期を迎えることができる。

本校の竣工より一足先きの落成で、特別教室もなく不自由を忍んでいた生徒たちにとって、歓迎の新学期を迎えることができる。

本校の竣工より一足先きの落成で、特別教室もなく不自由を忍んでいた生徒たちにとって、歓迎の新学期を迎えることができる。

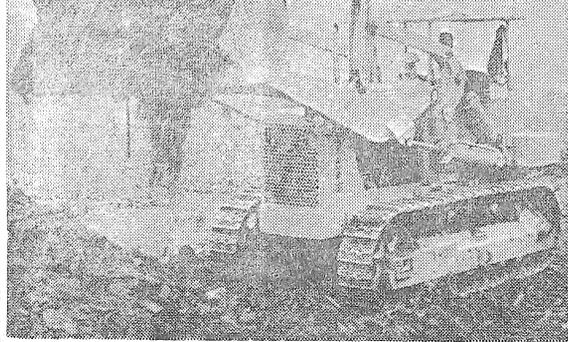
本校の竣工より一足先きの落成で、特別教室もなく不自由を忍んでいた生徒たちにとって、歓迎の新学期を迎えることができる。



大洲中学校建築工事現況



若宮分校起工式



菅田本村の開田工事

事業税の第2期分の納期は十月三十一日です